

SSKS

2025. 10月号

No. 579

せんかわだより

～あるがままに あたりまえに～



旅行の季節がやってきました！～ワークイン中町～



酷暑から解放され、ようやく外出できる季節になってきました。就労支援部の8事業所では年に1回、1泊2日の宿泊行事を行なっています。今年のトップバッターはワークイン中町で、箱根へ出かけてきました。今年度より、法人の新しいとりくみである「学びの時間」を利用して、利用者の皆さんが事前に旅行の内容や計画を視覚的に理解したり、話し合ったりするなどして意欲を高め、楽しむことができるように工夫しています。



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会

<http://www.musashino-senkawa.com>



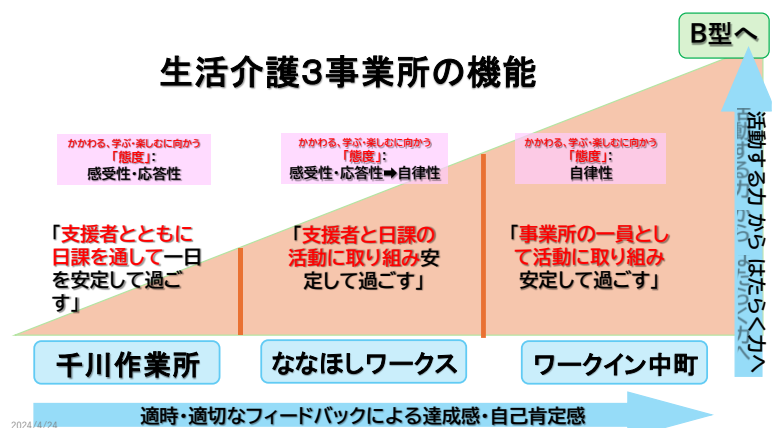
生活介護事業のとりくみについて ～活動提供による利用者の変化～

令和5年度より、利用者の安定した地域生活を支えていくことを念頭に、生活介護事業の中期計画を「選ばれる日課プログラムづくり」と策定しました。職員は研修等で障害者総合支援法や生活介護事業の在り方を学び、理念にもあるようにたゆまざる学習、研究を進め、試行錯誤を重ねながら、令和7年度には障害者総合支援法に基づく支援内容を組み入れた日課プログラム（スケジュール）の中で利用者に活動を提供できるようになりました。

「障害者総合支援法」において、生活介護事業所は①創作的活動、②生産活動、③身体機能や生活能力向上のために必要な支援（活動）を提供することが挙げられています。この活動を軸にしながら、各事業所の利用者に合った、地域の状況に合った、また当法人の特色などを加味した生活介護事業を展開しています。

上記の①～③の支援内容は、どの生活介護事業所でも提供する必要があります。しかし「利用者に合った」という視点から見ると3事業所（千川作業所、ななほしワークス、ワークイン中町）で同じ日課プログラムを行なうのではなく、めざす利用者の姿によって日課プログラムは変わってきます。

千川作業所では、支援者とともに日課を通して一日を安定して過ごすことができるように職員とのかかわりを多く持つことのできる創作的活動を中心としたプログラム。ワークイン中町では、事業所の一員として活動にとりくみ、安定して過ごすために役割が明確な生産活動を中心としたプログラムを構築しています。「利用者に合った」活動を提供する中で、適宜適切なフィードバックにより、達成感・自己肯定感を得ることで「かかわる」「学ぶ・楽しむ」に向かう態度が育っていくことを意識しながら支援を行なっています。



【生活介護事業所における目指す利用者の姿】

活動提供による利用者の変化

どの活動の提供を進めるうえでも、導入・展開・終末という流れにより「今日は何をするのか」「次回は何をするのか」などの理解が進みました。今では、「今日は音楽の時間です」「カスタネットをやります」など利用者が自ら見通しを持って参加できるようになりました。ワークイン中町では、生産活動（仕事を頑張る）と、各活動（活動を楽しむ）のメリハリを意識することで、各活動が利用者の楽しみになりつつあることを職員は実感しています。

また、各活動については、今年度入職した新任職員が担当するケースもあり、活動リーダーとして利用者のめざすべき姿（目的・目標）を意識しながら日々、試行錯誤しつつ計画を立て活動を展開しています。

次に身体機能が向上した利用者の一例を紹介します。Aさんは、手指の使い方や動作の模倣に難しさがあります。音楽の活動を通して、リズム運動を取り入れたり、映像を用いたりするなかで都度職員が関わりながら評価をくり返し行ないました。活動に向かう意欲はとてもある方なので、体を動かす感覚を徐々に習得し、見て、真似る行動が見られるようになってともに、音楽に合わせて手を挙げ、足を出すといった動きができるようになりました。

また手指の運動では、グーとパー、一本指を立てること以外に、チョキができるようになり、さらには1から5までの指折りもできるようになりました。できたことを評価されたことがうれしかった様子のAさんは、旅行の時も満足気に指を3本立て写真に写っていました。

このように、活動を通して利用者の成長を感じることができることが支援者としての喜び、やりがいと捉えています。



【できた喜びを「3」で表現】

学びの時間 ～旅行に向けて～

利用者にとって年に一度の楽しみである事業所旅行に向けて、約1カ月前から意欲を高めるため、学びの時間を通して計4回の学習活動を実施しました。

1回目は、実際に行く場所の映像を見てもらいイメージをひろげる時間を設定しました。カレンダーワークの中で旅行の日が近づいてきていることも同時に進めていきました。

2回目は「旅のしおり」を作成し荷物の確認等、お土産の購入場所など皆で読み合わせ等を行ないました。

3回目は「旅のしおり」をもとに1日目、2日目はどこに行くか、どこで集合写真を撮るのかなどをクイズ形式で行ないました。また、旅先でのルール、マナーなども確認する時間を設けました。

4回目には前日確認を行ない、元気な姿で明日、通所することを確認しました。

このように、事前学習を進めることで旅行をさらに楽しむことができるように準備してきました。旅先では、「旅のしおり」を常時持ち歩き確認しながら楽しんでいる利用者、集合写真を撮る場所を見つくと「ここだ」と笑顔を見せている利用者など、楽しい旅行がさらに充実した旅行になったのではないかと考えています。



【大涌谷にて】



【箱根園水族館にて】

今後の展望

生活介護事業所では、障害者総合支援法の支援内容を活動として提供し利用者の成長や変化を見落とさずに評価をくり返すことで、達成感、自己肯定感を育み、利用者の興味関心の幅をひろげ、生活の充実を図ることを今後も進めていきます。

（文責：ワークイン中町 金田 大志）

むさしのあったかまつり Coming Soon!!

今年もまた、盛り上がる季節がやってきました。
そう、「むさしのあったかまつり」です！！
今年で 23 回目を迎え、当法人は作品展示・パネル展示
物品販売で参加します。皆さまのご来場、お待ちしております♪

【日時】10月18日（土）10:00～14:00
【場所】むさしのエコreゾート（緑町3-1-5）



【とびっくす】～インスタだより vol.28～ #Bee ワークスの日常



掃除をすることから1日がはじまります。
1日を気持ちよくはじめることができる
ように。
そして帰る前にも。
明日を気持ちよく迎えることができるよ
うに。

日々、コツコツと続けています！



今月の動向 ～令和7年9月～

1日(月) 地域自立支援協議会
4日(木) 学ぶ学習会・B型学習会
9日(火) 常任理事会
10日(水) 幼児児童学習会
17日(水) 所長会議
18・25日(木・水) 歴史研修
18・19日(木・金) ワークイン中町旅行
24日(水) 常任理事会
28日(日) オープンカレッジ東京 第1回講座

来月の予定 ～令和7年10月～

2・3日(木・金) Bee ワークス旅行
6日(月) 常任理事会
8日(火) 光明会様訪問研修
9・10日(木・金) 武蔵境7-キグ センター旅行
12日(日) 生涯発達・地域生活支援研究会
15日(水) 所長会議
17・18日(金・土) きょうされん奈良大会職員参加
23・24日(木・金) チャレンジャー旅行
27日(月) 障がい者の就労を考えるつどい2025
中間層研修
28日(火) 常任理事会
30・31日(木・金) 八幡旅行



社会福祉法人 武蔵野千川福祉会
<http://www.musashino-senkawa.com>

<発行人> 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会 東京都世田谷区笹塚3-1-17-102 TEL 03(6277)9611

<編集人> 社会福祉法人 武蔵野千川福祉会 東京都武蔵野市境南町4-20-5 TEL 0422(30)0022 定価 50 円